

ダム情報

利根川上流8ダムの貯水状況

平成28年5月12日現在

41,345万m³

貯水率 **89.6%**
(平年貯水率 88.6%)

※ホームページからも確認できます。

県水にだより



発行:千葉県水道局管理部総務企画課
〒262-8512
千葉市花見川区幕張町5-417-24
TEL 043(211)8365
FAX 043(274)9801
給水人口/2,968,417人
(平成27年3月末現在)
年間給水量/318,402,038m³
(平成27年度)

●千葉県水道局ホームページ <http://www.pref.chiba.lg.jp/suidou/index.html>

千葉県水道局 給水 80周年 記念特集号

給水80周年 によせて



千葉県水道局は、昭和11年に給水を開始して今年で80周年を迎えます。この間、安全で良質な水を安定してお客様にお届けすることを最大の使命として、安定水源の確保、浄・給水場や管路等の整備、危機管理体制の充実、業務能率の向上や経営体質の強化等に取り組んでまいりました。

その結果、戦災の復興期から高度経済成長、そして現在にいたるまで千葉県の発展とともに水道事業を拡大し、今では約300万人のお客様の生活用水を賄い、本県の経済・生産活動を支える全国屈指の水道事業体に成長しました。

本号では、千葉県営水道事業の発足の背景や、80年間のあゆみを紹介いたします。



千葉県水道事業管理者
千葉県水道局長
田谷 徹郎

今みなさんが何気なく使っている水道水。水道がいつできたのか、考えたことはありますか？近代水道*の始まりは明治時代にさかのぼります。水道が引かれていなかったころ、飲み水は川や井戸から汲んでいましたが、決して安全とは言えず、全国的にコレラやチフスなどの伝染病が流行していました。清潔な水を得るために水道布設の要望が高まる中、明治20年に通水した横浜市を皮切りに、全国的に近代水道が広がることになりました。



水道ができる前は
井戸の水を
飲み水に使って
いたんだよ

*近代水道: 導管などを使って、人の飲用に適する水を常時供給する施設のこと

千葉県では井戸水を豊富に使えたので、水道を作ろうという動きは遅く、大正11年に始まった野田醤油株式会社(現キッコーマン株式会社)を除き、昭和初期になるまで近代水道はありませんでした。しかし、この時期に行われた鉄道や国道の整備、また観光・遊覧地として注目されたことによる急速な人口増加により、日常生活や衛生的観点から、水道事業の必要性がクローズアップされてきました。

そのような中、水道事業を行うために必要な認可の申請を行う事業者もありましたが、いずれも財政的事情により実現せず、また、市町村も財政上、技術上の理由で実施することができませんでした。

そこで、当時の千葉県知事を筆頭に、県による水道事業の運営についてあらゆる角度から検討がなされました。その結果、原水の確保、工事費の抑制、失業対策、水道施設が1市1町の問題にとどまらないことから、広域的な観点のもと、県営水道事業を行う構想が練られ、昭和9年に、現在の千葉県水道局の基礎となる、水道事業が本格的にスタートすることとなりました。

創設時の給水区域 (昭和11年)

現在の給水区域 (平成28年)

県営水道の
スタート時は、
主に東京湾沿いに
水を配っていたよ



80年たった
現在

給水人口
約**2**万人

給水人口
約**297**万人

80年の間に
大きく成長したよ
次のページで、
水道局発展のあゆみを
紹介するね!

